

令和7年度 第4回都島区区政会議 会議録

1 日時 令和8年3月9日（月）午後7時から午後9時5分まで（うち、午後7時48分から午後8時38分まではグループでの意見交換のため一時中断）

2 場所 都島区役所 3階会議室

3 出席者

（区政会議委員）

臼井委員・浦出委員・久保委員・雲井委員・鮫島委員・辻坂委員・中村委員・西委員・播委員
村上委員・本居委員・藪上委員

（都島区役所）

藤岡区長・伊藤副区長・三井総務課長・西山政策企画担当課長・鹿倉政策企画担当課長・松井
まちづくり推進課長・中尾防災安全担当課長・世古口窓口サービス課長・田村保健福祉課長・
清原子ども教育担当課長・藤本生活支援担当課長

4 議題

- (1) まちづくりビジョン 2040 検討状況について
- (2) 都島区将来ビジョン 2030 について
- (3) 令和8年度予算事業及び運営方針（案）について
〈グループでの意見交換〉

5 会議次第

- (1) 開会（藤岡区長挨拶）
- (2) 議事

【三井課長】

委員の皆様には、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。定刻となりましたので、これより令和8年度第4回区政会議を始めさせていただきます。

私は、本日、司会を務めさせていただきます総務課長の三井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、初めに区長の藤岡よりご挨拶させていただきます。

【藤岡区長】

皆様、こんばんは。藤岡でございます。

今日は、ご多用の中、区政会議にご参加いただきまして誠にありがとうございます。また、日頃より市政、区政に対する深いご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

議員の皆様におかれましても、お忙しい中、オブザーバーとしてご参加いただきましてありがとうございます。

さて、本日の議題でございますけれども、まちづくりビジョン2040や将来ビジョン2030、そして令和8年度予算事業と運営方針についてでございます。

区政会議は、区民の皆様から区政運営について広くご意見をいただく大変貴重な場面となっております。もっとこういうところがあったらいいなとかいうような、いろいろなご意見、アイデアなどをいただければと思っております。皆様からいただいたご意見、今後の区政運営をよりよいものにするための重要な指針となってまいりますので、限られた時間ではありますけれども、実りある時間にしていただければと思っております。

また、少しお知らせをさせていただきます。お手元にパンフレットがあるかと思っておりますけれども、まちづくりビジョン2040に関連する取組の一環といたしまして、先日、3月7日に京橋にぎわいマルシェを京橋公園で開催をいたしました。また、3月12日には都島区まちづくりビジョン2040シンポジウムということで、QUINT BRIDGEの場所をお借りしてシンポジウムを開催いたします。また、14日には淀川河川公園毛馬地区で都島Meets NATURE2026を開催いたします。こちらは、フェノロジーカレンダーとハンドブックということで、都島区の自然の魅力をツールとして作ったものをお披露目する予定でもございますので、ぜひ皆さん、ご参加いただきたいと思います。

それでは、本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

【三井課長】

ここで、委員の皆様にご挨拶させていただきます。

議事録等の作成のため、事務局で会議の様子を録音、撮影させていただいております。また、本日の会議はインターネット配信を行っております。以上、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

それでは、定足数の確認をさせていただきます。本日の会議には、委員定数18名のうち12名が出席されておりますので、定足数を満たしておりますことをご報告いたします。

また、高見委員、松村委員、三木委員、山野委員、山中委員、下川原委員におかれましては、本日も欠席のご連絡をいただいておりますので、ご報告させていただきます。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。

事前にお送りしていた資料としまして、右肩に資料1と記載しております都島区まちづくりビジョン2040（素案）抜粋版、当日配付資料として、資料2-1、都島区将来ビジョン2030（案）パブリックコメント結果と対応、資料2-2、都島区将来ビジョン2030、事前にお送りしていただきました資料として、資料3-1、令和8年度予算事業及び運営方針（案）について、資料3-2、令和8年度都島区運営方針（案）共通様式、資料3-3、令和8年度都島区運営方針（案）説明資料、あと参考資料といたしまして、参考資料1、令和8年度予算事業一覧、参考資料2、京橋にぎわいマルシェのチラシ、参考資料3、都島区まちづくりビジョン2040シンポジウムのチラシ、参考資料4、都島Meets NATURE2026パンフレット、以上が本日の資料になります。不足がございましたら、お配りいたしますので挙手をお願いいたします。大丈夫でしょうか。ありがとうございます。

続きまして、本日のタイムスケジュールについて簡単にご説明させていただきます。

まず、次第のとおり、区役所から今回の議題であります議題（1）まちづくりビジョン2040検討状況についてご説明させていただき、質疑応答の時間を設けます。次に、議題（2）都島区将来ビジョン2030について、次に、議題（3）令和8年度予算事業及び運営方針（案）についてを事務局からご説明させていただきます。

次に、各グループに分かれていただいて意見交換を行っていただきます。グループでの意見交換は、移動、休憩も含めて55分程度を予定しております。

その後、再び今の席に戻っていただきまして、全体会を再開したいと思います。その際は、各グループで出されました意見をご報告いただきまして、それを踏まえ、全体での意見交換をしていただきたいと思います。

終了は21時を予定しております。円滑な進行にご協力のほどよろしくお願いいたします。

続きまして、本日も出席の議員の皆様をご紹介させていただきます。

大阪市会より、大西議員でございます。

【大西議員】

よろしく申し上げます。

【三井課長】

同じく、荒木議員でございます。

【荒木議員】

荒木です。どうぞよろしく申し上げます。

【三井課長】

なお、大阪市会岡田議員並びに大阪府議会魚森議員におかれましては、公務のため欠席のご連絡をいただいております。

それでは、これより久保議長に議事運営をお願いいたします。よろしくをお願いいたします。

【久保議長】

皆様、改めまして、こんばんは。どうぞよろしくをお願いいたします。

それでは、早速でございますが、議題に入ってまいりたいと思います。

まず、議題(1)まちづくりビジョン2040検討状況につきまして、事務局よりご説明をお願いいたします。

【鹿倉課長】

政策企画担当課長の鹿倉でございます。

私から、議題(1)都島区まちづくりビジョン2040検討状況につきましてご説明させていただきます。座らせていただいて、ご説明させていただきます。

まちづくりビジョン2040の検討状況につきましては、令和7年度の第1回及び第3回の区政会議においてご報告させていただいていたところですが、資料説明に入ります前に、改めて、まちづくりビジョン2040の目的及び位置づけについてご説明させていただきます。

都島区では、区政全般を対象として、計画期間5年とする都島将来ビジョンの下もと、区の特性を生かしたまちづくりに取り組んでいます。一方、今後到来するまちの長期的な変化には行政のみで対応することは難しく、これまで以上に行政、区民の皆様、地域団体、民間事業者が連携し、まちの魅力創出や育成を図り、区民の満足度・幸福感の向上につながる都市の発展をめざす必要があると考えております。このため、長期的な視点での区の将来像を示し、まちに関わる多様な立場の人々とこれを共有し、同じ方向を向いてまちづくりを進めていくための指針とするため、将来ビジョンの別冊として、2040年を目標年次とする都島区まちづくりビジョン2040の策定を進めています。

本日お配りしている資料は、作成中のまちづくりビジョンの一部を抜粋したものですが、その他の部分については現在作成を進めており、4月をめどに案として取りまとめ、5月頃にパブリックコメントを実施する予定です。

つきましては、本日は主に、まちづくりビジョンの構成やビジョンの主なポイントについて皆様にご説明させていただきたいと思っております。ビジョン案の全体につきましては、パブリックコメント実施の際にご確認いただければと考えております。

それでは、資料1の1枚目をご覧ください。

まちづくりビジョンの構成ですが、本ビジョンは、Chapter1はじめに、Chapter2都島区の「いま」、Chapter3めざしたい都島区の2040年の姿、Chapter4ビジョンの実現に向けたアプローチの4章立てで作成し、最終的には50ページ程度のビジョンとなる予定です。

資料をめくっていただきまして、Chapter1はじめにでは、冒頭に区長からの「ごあいさつ」、その次に、先ほど申しあげました、まちづくりビジョンの目的、位置づけ、まちづくりのトレンドなどについて記載する予定にしております。今回のビジョンの副題でもある15分都市というまちづくりの考え方についても、こちらに記載しております。

続いて、Chapter2都島区の「いま」では、都島区の魅力や強み、弱みをデータに基づき記載する予定です。分析に当たっては、15分都市の考え方に基づく4つの視点から都島区の特徴を分析します。

また、今回の資料にはございませんが、区内を中心に活動されている方に対して行ったキーパーソンインタビューや、昨年11月に区内4か所で実施した地域別ワークショップなどでいただいたまちの人たちのお声についても、この章に記載させていただく予定です。

資料をめくっていただきまして、Chapter3めざしたい都島区の2040年の姿では、Chapter1、Chapter2で整理した内容を踏まえ、2040年に向けて都島区のまちづくりを進める上で大切にしたいコンセプトをMeetable Townみやこじまとして、会いたいと思える人にすぐ会えるまち、訪れたい場所が近くにあるまち、参加したい活動に気軽に参加できるまちをめざすこととしたいと考えております。

また、Meetable Townの先に生み出したいまちの姿として、自然と文化が根付き充実感に満ち暮らせるまち、多様なプレイスで人がつながるまち、共創やチャレンジが生まれるまちの3つのシーンを次ページ以降のようなパース図として描く予定でございます。

資料をめくっていただきまして、Chapter4ビジョンの実現に向けたアプローチについてですが、このビジョンは行政だけで実現できるものではなく、区民の皆様をはじめまちに関わる多様な立場の人々がそれぞれの立場で日々の活動を積み重ねることで初めて実現が図られるものと考えております。区役所としましては、このような多様な立場の方々をつなぐパイプ役となることが重要な役割であると考えており、具体的には次ページにイメージを掲載しておりますが、区民の皆様のまちづくりを応援する、全区プラットフォーム（みやこじまFanプール）の構築を進めてまいります。

また、ビジョン実現に向けたロードマップとしては、短期、中期、長期と段階的に取組を進めてまいります。まずは、まちづくりの機運を高めるため、現在先行的に取組を進めている京橋エリアと淀川エリアをそれぞれターゲット・エリア、リーディング・エリアと位置づけ、公民連携の取組を推進してまいります。

なお、先ほど区長のご挨拶でもありましたが、参考資料としてチラシをお配りしております。京橋エ

リアの取組である京橋にぎわいマルシェをおとといの土曜日に京橋公園で開催し、淀川エリアの取組としましては、今週の土曜日に都島Meets NATURE2026を開催させていただく予定です。

最後に、Chapter1の冒頭の区長挨拶にも記載しておりますが、本ビジョンの策定に当たりましては、有志の区民の皆様や区内で活躍されているキーパーソンの方々、民間事業者、各種団体の方からも多くのご意見をいただきました。本日もご出席いただいている鮫島委員や臼井委員にも先日のイベントや11月のワークショップにもご参加いただくなど、多大なご協力をいただいております。誠にありがとうございます。

いずれにしても、ビジョンをつくって終わりにするのではなく、今後も継続して行政、区民の皆様、民間事業者、各種団体の皆様が相互に対話を繰り返していくことが重要だと考えておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

また、こちら資料をお配りしておりますが、明日の木曜日にはQUINT BRIDGEという施設でまちづくりビジョン2040シンポジウムを開催し、区民の皆様にもビジョンの素案の内容を共有させていただく予定としております。

以上、簡単ですが、私からの説明とさせていただきます。

【久保議長】

ありがとうございました。

ただいま事務局から説明がございました内容につきまして、何かご質問、またご意見等はございませんでしょうか。挙手いただきましたら、事務局がマイクをお持ちいたしますので、お名前を名乗っていただきましてからお話しいただければと思います。よろしくお願いいたします。

【臼井委員】

区政議会委員の臼井です。よろしくお願いいたします。

今日、メモを作ってきたので、メモを読み上げる形で質問をさせていただきたいと思っております。それに当たりまして、区政会議のルールにあるかどうか事前に確認すべきだったと思うんですけれども、まとめたものを委員の皆様へ配付させていただくことは許されるのでしょうか。

【西山課長】

政策企画担当課長、西山でございます。

会議の承認があれば、委員からの資料配付は可能という理解になっております。

【臼井委員】

そうですか。今、お渡ししても大丈夫ですか。

【西山課長】

必要部数がありましたら、事務局で配付させていただきます。

【白井委員】

すみません。では、進行の方、1部ずつご配付いただければありがたいと思います。時間短縮するために、先に話し始めます。

今回のまちづくりビジョン2040を拝見しまして、都島区が市民の活動とかコミュニティを大切にしたいまちづくりをめざしているという印象は強く受けました。市民一人一人の暮らしとか活動の積み重ねによってまちが形成されていくという、いわばナラティブなまちづくりを志向しているというふうに感じました。今の時代に合ったとてもいい方向性だと感じております。

その上で、幾つか意見と質問がございまして、大きく分けると、これから3点質問させていただきたいと思っております。

まず1点目なんですけど、今回のビジョンは、コミュニティ形成とか人のつながりとか、ソフト面の方向性はよく見える、可視化されていると思うのですが、一方では、まちの姿としてのハード面の将来像がやや見えにくいかなと率直に感じました。

例えば、公共空間のバリアフリー化とか、公園とか街路の緑化とか、あとは景観整備とか防災の観点でも、電線の地下埋設みたいなそういったハード面、都市環境の方向性が示されると、市民にとって未来のまちの姿がより具体的にイメージしやすくなるのではないかと思います。

この点について、1つ目なんですけど、都島区として都市環境整備の方向性、ビジョン2040と結びつける形で、この辺りをどのようにお考えになっているのかをお伺いしたいなと思えました。これが1つ目。

先に、もう3つ全部話してしまいますね。

2点目。先ほどお話にもありましたけど、多様性という観点、非常に重要だと思っていまして、特にユニバーサルなまちづくりの視点というのが重要ななと思っています。特にこれからの社会では、高齢者とか障がいを持っている方々とか外国人とか子育て世代とか、さまざまな人が暮らすことを前提にしたまちづくりが必要になると考えています。そのためには、また戻りますけど、ハード面ではユニバーサルデザイン、ソフト面ではユニバーサルマナー、その両方を進めていくことが重要ではないかと思っています。この点について、2つ目の質問なんですけども、ユニバーサルデザインとかアクセシビリティ、こういったものについて、今後それをどのように位置づけていくのかというところをお伺いしたいです。これが2点目です。

最後、3点目なんですけど、ナラティブなまちづくりです。これは、私が勝手にビジョンを読んでナラティブなまちづくりをしようとしているんだなと感じたので、この言葉を使わせていただいているんです。ナラティブなまちづくり、これも先ほどありましたとおり、行政がつくるというよりは市民の活動の積み重ねによって形づくられていくものだと思います。その意味では、区民が主体となってまちをつくって、一方で行政は、方向性を記したり、活動を支援したり、時には共創する、そういう役割の

関係性がもう少し見える形になってもよいのではないかと感じました。

例えば、区役所とか区民センターがシティセンターの役割を果たしていくと思うんですけども、これが具体的にどういう機能をこれから持っていくのか、どういう形で区民の皆さんがここを活用していくことになるのかも含めて、行政と区民の役割みたいなところをビジョンの中で描かれてもいいのかなと感じました。

気になったところが、区民の参加というところに関しても、このビジョンを読む限り、変化を求めているとか何か活動したい人というのが前提になっているように感じるんですけど、実際には活動に積極的な人だけではなくて、表立った活動には参加しない、しようと思わないという人とか変化を望まないという人たちも一定数絶対いるはずなので、そういった方々に取り残されていると感じないような配慮、これも重要ではないかと思っています。

この点について、3点目の質問なんですけども、区民の参加を広げるための情報発信とかアウトリーチ、この辺りをどのようにお考えになっているのかをお伺いしたいと思います。これが3点目の質問です。

最後になるんですけども、私は障がいがある子どもを育てる父親でもありまして、都島が区民一人一人の生活物語が積み重なりながら、子どもから高齢者まで、障がいがある人、障がいがない人、外国人、子育て世代、誰もが安心して暮らせるまちになっていくことを願っていますということで締めさせていただきます。以上3点、私からの意見と質問を挙げさせていただきました。よろしくお願いいたします。

【久保議長】

貴重なご意見をありがとうございました。

では、現時点では限られた時間ではございますけど、また後ほど議論もできますので、今の時間内で回答をよろしくお願いいたします。

【鹿倉課長】

政策企画担当課長の鹿倉です。ご質問ありがとうございます。以下、現時点でお答えできる範囲になりますが、お答えさせていただきます。

まず、ハード面の将来像をもう少し明確にというご意見かと思います。おっしゃるとおり、今回、抜粋してお渡しさせていただいた資料については、ハード面の書き込みが弱いのかなというご意見かと思います。ですが、このビジョンについてはハード面のことも書き込んでいきたいと考えておりまして、公共空間をどのように使っていくか。区役所ですので、区役所の権限として、ハード面を新たにつくり変えとかそういったところの権限等がないというところはあるんですけど、今あるハード、公共空間をどのように使っていくのか、これまで使われていなかったものをより活用していくのかというところに関しては、非常に大切になってこようかと思っています。都島区、特に北部では緑とか水辺とか非常に豊か

な町なみもありますので、そういったところで、どう区民の方がそういった資源を使っていたら、より豊かな暮らしをしていただくかということも、ハード的なところというような書き込みをさせていただきたいと思っております。

次、ユニバーサルなまちづくりの視点というところかと思えます。これについては本当におっしゃるとおりで、都島区には、高齢者、障がい者、外国人、子育て世代など多様な方が暮らしておりますので、これまで、今年度の取組でも本当にたくさんの方にそれぞれの立場からご意見をいただいている中では、高齢者からのご意見でありますとか、障がい者の施設で働いている方とか、障がい者のお子様を持つ保護者の方からのご意見もいただいておりますので、皆さんにとってどういうまちづくりというのが望ましいのかという視点は忘れないように進めていきたいなと思っております。

次、まちづくりにおける市民と行政の役割というところで、ここも、このペーパーに書いていただいていることがまさにそういうことかなと思っております、あくまでもまちづくりの主体は区民の皆様だと私どもも考えておりますので、このビジョンというのは、そういう将来像を示して、皆さんでその将来像を共有して、区民の方であったり地域団体の方であったり民間事業者の方が、その将来像を共有して取組を進めていただいて、区役所というのは、そういった活動を応援したりとかパイプ役になっておつなぎするということなどが重要な役割かなと考えております。そういうところも分かりやすく明確にして、まちづくりの参加意識を高めていただけるような形でビジョンもつくりたいなと思っております。

あと、市民参加の広げ方というところがございますが、おっしゃるように情報がなかなか届かないというところがいらっしゃるというのも、そういうことかなと思っております。区役所としましては、広報誌ということで全戸配布ということにはさせていただいておりますけれども、なかなか若い方は広報誌を見られない方もいらっしゃるということもありますので、SNS、LINEでありますとかXとかでも情報発信を進めておまして、デジタルとかデジタルじゃないアナログな部分両方で情報発信をして、多くの方に情報が届くような取組を進めていくということで、今後も、こういうまちづくりの取組については継続して取組の経過も含めて情報発信をして、皆様に知っていただくということは重要であると認識しております。引き続き、そういった観点で取組を進めていただければと思っております。

簡単ですが、以上です。

【久保議長】

ありがとうございました。後ほど、グループディスカッションで深めていただければと思います。

【藪上副議長】

副議長の藪上です。議事進行をする立場から、意見を言うのはあまりよろしくないのです。

先ほどの白井委員からのご提案、非常によかったと思います。ありがとうございます。決まったこと

をどっちかというフィードバックを受ける立場ではあるので、それを見て、またさらにフィードバックをしていただくというのは非常にありがたいことかなと思うんですけども、できれば、区役所の皆様も事前に、もしこういうご意見とかあるようでしたら区政会議が始まる前に収集していただいて、意見をなるべく区役所側でも考えていただくほうが、議事進行も今後しやすいかなとは思いますが、その辺はいかがですか。

【西山課長】

ありがとうございます。政策企画担当課長、西山でございます。

事前にご質問を募るといふ会議運営の手法については、今後検討させていただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

【藪上副議長】

せっかく意見をつくっていただいて、それに対して、やっぱり区役所側も多分真摯にご回答は毎回していただけるものだと思いますので、より実りある意見交換ができるのは、そのほうが一番いいかなと思います。そこはご検討をしていただければなと議事進行する立場から思いましたので、すみません、それだけコメントさせていただきました。

私からは以上です。

【久保議長】

ありがとうございました。

ほかにもご意見、ご質問はあるかと存じますが、時間の関係上、先に進ませていただきます。また後ほどグループディスカッションで、この2040のビジョンも含めつつ議論を深めていただければと存じます。よろしくお願いたします。

それでは、続きまして、議題（2）都島区将来ビジョン2030について、議題（3）令和8年度予算事業及び運営方針（案）について、事務局よりご説明をお願いいたします。

【西山課長】

政策企画担当課長の西山でございます。どうぞよろしくお願いたします。それでは、失礼ながら座って説明をさせていただきます。

それでは、議題（2）都島区将来ビジョン2030について、議題（3）令和8年度予算事業及び運営方針（案）についてを一括してご説明いたします。

まず、議題（2）都島区将来ビジョン2030について。資料2-1、都島区将来ビジョン2030（案）パブリックコメント結果と対応についてをご覧ください。

パブリックコメントの実施につきましては、募集期間は令和8年1月9日から2月9日までの1か月実施し、郵送、電子メール、インターネットなどにより募集いたしました。受付通数は3通、延べ10件のご意見を

いただきました。分野別では、全般・基本理念に関するものが3件、安全・安心のまちでは2件、人がつながり・いきいきと暮らせるまちが2件、子どもが輝くまちが1件、明日に誇れるまちが2件となっております。ご意見と区の考え方につきましては、2ページ以降に記載しております。

ビジョン全体に関しましては、現計画の検証を踏まえるべきことや、成果手法をより分かりやすく設定すべきとのご意見をいただきました。本ビジョンは中期的な方向性を示す計画でございますので、個別事業の評価や進捗管理は単年度アクションプランである都島区運営方針において行い、公表してまいります。

次に、4つの柱の関係性について、相互作用が分かりにくいとのご意見をいただきました。各柱は互いに関連し合いながら将来像を形づくるものであり、その構造がより伝わるよう表記を修正いたします。

また、町会や地域コミュニティについては、加入率低下などの課題を踏まえつつ再定義し、生かしていく視点が重要とのご意見がありました。区としても、担い手不足や負担軽減に配慮しながら、地域活動への参加促進や支援を進めてまいります。

さらに、多様性や包摂の視点、子どもが輝くためには家庭・学校・地域が一体となることの重要性についてもご意見をいただきました。加えて、「区の魅力創出」については、創出と発信の両面を明確にするため、名称を「区の魅力創出・発信」へ修正いたします。

今回いただいたご意見は、可能なもの反映をし、その他についても今後の施策推進の参考とさせていただきます。引き続き、区民の皆様と共に持続可能なまちづくりを進めてまいります。

次に、資料2-2、都島区将来ビジョン2030をご覧ください。

ただいまご説明いたしました資料2-1にお示ししましたパブリックコメントでいただいたご意見を踏まえて、案の一部の修正を行い、このたび、案を取り、資料2-2にありますとおり、都島区将来ビジョン2030を確定いたしましたところでございます。

委員の皆様におかれましては前委員の委員から現委員の方にわたり、骨子案、素案の各段階からご議論、ご意見をいただき、誠にありがとうございました。

次に、議題（3）令和8年度予算事業及び運営方針（案）について。資料3-1、令和8年度予算事業及び運営方針（案）についてをご覧ください。

都島区では、安全・安心のまち、人がつながり・いきいきと暮らせるまち、子どもが輝くまち、明日に誇れるまちの実現に向け、4つの経営課題を設定し、取り組んでまいります。経営課題1、安全・安心のまちとして、防災や防犯を強化し、安全で美しいまちづくりを進めてまいります。経営課題2、人がつながり・いきいきと暮らせるまちとして、コミュニティの活性化や住民が健康でいきいきと暮らせる福祉サービスを充実させてまいります。経営課題3、子どもが輝くまちとして、安心して子育てできる環境や未来の社会を担う人材の育成に力を入れてまいります。経営課題4、明日に誇れるまちとして、地域活

性化や都島区の魅力を発信し、地域の誇りを高めてまいります。

次に、資料3-2、令和8年度都島区運営方針（案）、右肩に共通様式と記載している資料と、あと、資料3-3、令和8年度都島区運営方針（案）説明資料についてご説明いたします。

まず、資料3-2、共通様式の資料でございますけれども、この資料は、大阪市で統一的な様式で作成している資料となっております。資料3-3、説明資料は共通様式を補完するもので、各事業の状況説明や各種統計データなどを記載しております。委員の皆様には事前に資料送付を行い、お目通しをいただいていることや、2つの資料ともおおむね同じ内容となっていることもありますため、本日は、資料3-2、令和8年度都島区運営方針（案）、右肩に共通様式と記載している資料でご説明をいたします。

1ページをご覧ください。都島区では、安全・安心のまち、人がつながり・いきいきと暮らせるまち、子どもが輝くまち、明日に誇れるまちの実現を目標としております。災害に強く、安全で安心な美しいまちの実現、地域コミュニティの活性化と健康でいきいきと暮らせるまちの実現、子どもたちの成長を支え、未来社会を担う人材を育成するまちの実現、地域のにぎわいと魅力の向上と区民が誇りを持てるまちの実現を使命とし、基本的な考え方として、「みんなで未来を開くまち」を掲げております。区民の皆様への参画と協働により、安全・安心で暮らしやすく魅力あるまちづくりを進めてまいります。

重点的に取り組む内容といたしまして、経営課題1、安全・安心のまちについて、課題認識といたしまして、防災のまちづくりでは、個人や家庭での自助の取組は進んでいる一方で、地域全体で助け合う共助の取組には地域差が見られます。そのため、啓発や支援の充実、新たな担い手の育成が必要です。防犯のまちづくりでは、区内で犯罪が多発している状況が続いております。また、令和8年4月から自転車の交通違反にも反則通告制度が適用されることから、防犯意識や交通安全意識の向上が必要です。安全で美しいまちづくりでは、清掃活動は積極的に行われているものの、活動情報の共有や参加者同士の交流機会が不足しています。活動の見える化を図る工夫が求められています。

これらの課題を解決するために取り組む主な戦略についてでございます。まず防災では、自助・共助の重要性を啓発し、地域防災リーダーや新たな担い手の育成を支援するとともに、災害対策本部へのデジタル機器導入を進め、防災力を強化します。防犯では、防犯カメラの設置や警察と連携した啓発活動を実施します。環境美化では、地域と協働したボランティア清掃活動の推進に加え、喫煙マナー向上や違法客引き防止の啓発を行います。

これらの戦略が順調に進んでいるかどうかを評価するために評価指標を設定しています。まず防災では、避難所開設運営訓練を令和12年度までに全9地域で実施。防犯では、重点犯罪発生件数を令和12年度まで前年度以下に抑制。環境美化では、清掃ボランティア参加団体数を令和12年度までに40団体以上にすることを評価指標としています。

次ページをご覧ください。

重点的に取り組む内容といたしまして、経営課題2、人がつながり・いきいきと暮らせるまちについて、課題認識として、コミュニティ豊かなまちづくりでは、少人数世帯や高齢単身世帯の増加などにより地域のつながりが希薄化しています。担い手不足や参加意識の低下も課題です。また、福祉課題は複雑化・深刻化しており、孤立や要援護者の把握、支援につながらないケースへの対応が必要です。

これらの課題を解決するために取り組む主な戦略についてです。まず、コミュニティ豊かなまちづくりでは、地域活動協議会を中心に住民参加を促進し、自律的な地域運営を支援します。次に、いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくりでは、高齢者の見守り支援や健診の実施、関係団体と連携した健康づくりを進めます。

これらの戦略が順調に進んでいるかどうかを評価するための評価指標でございますが、コミュニティ豊かなまちづくりでは、まちづくりアンケートにおいて、地域活動協議会に対し、地域の実情やニーズに即した支援が実施されていると回答した地域数を令和9年度までに全9地域。いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくりでは、福祉コーディネーターの連携件数を令和12年度まで年間2,000件以上維持することを評価指標としております。

次ページをご覧ください。

重点的に取り組む内容といたしまして、経営課題3、子どもが輝くまちについて、課題認識として、安心して子育てできるまちづくりでは、子育て支援室の相談件数は増加傾向にあり、相談体制の充実が必要です。次に、未来社会を担う人材育成では、子どもの居場所や支援体制の不足、学習機会の格差への対応も求められています。

これらの課題を解決するために取り組む主な戦略については、まず、安心して子育てできるまちづくりでは、相談体制を充実させ、子育て家庭の不安軽減を図ります。また、未来社会を担う人材育成では、居場所づくりや学習支援を通じて子どもの成長環境を整備します。

これらの戦略が順調に進んでいるかどうかを評価するための評価指標につきましては、まず、安心して子育てできるまちづくりでは、子育て支援室の相談件数を令和12年度まで延べ800件以上を維持。未来社会を担う人材育成では、区内小中学校へのアンケートにおいて、区が実施する教育関係事業の各取組について効果があったと回答した割合を令和12年度まで80%以上を維持することを評価指標としております。

次ページをご覧ください。

重点的に取り組む内容といたしまして、経営課題4、明日に誇れるまちについて、課題認識として、にぎわいと魅力あるまちづくりでは、都島区は自然環境や歴史・文化資源など高いポテンシャルを有しています。こうした強みを生かし、区民の皆様が誇りを持ち、住み続けたいと思えるまちであるとともに、区外の方にも、訪れたい、住みたいと思っただけのまちづくりを進める必要があります。次に、区

の魅力創出・発信では、広報誌だけでなく世代や内容に応じてホームページやSNSの活用など、多様な広報ツールを効果的に活用し、区内外に向けて都島区の魅力や取組を積極的に情報発信していくことが必要となっております。

これらの課題を解決するために取り組む主な戦略については、まず、にぎわいと魅力あるまちづくりでは、水辺空間や歴史資源を活用した活性化を進めるとともに、令和8年春に策定予定の都島区まちづくりビジョン2040の実現に向け取り組んでまいります。次に、区の魅力創出・発信では、多様な世代に応じた広報ツールを活用し、区内外への情報発信やプロモーションを行い、まちづくりへの参加意識の醸成につなげてまいります。

これらの戦略が順調に進んでいるかどうかを評価するための評価指標として、にぎわいと魅力あるまちづくりでは、魅力資源活用事業の参加・協力団体数を令和12年度まで25団体以上、区の魅力創出・発信では、大阪市公式LINEで都島区を受信設定している登録者数を令和12年度までに4,000人に到達させることを評価指標としております。

次に、資料が替わりまして、参考資料1、令和8年度予算事業一覧をご覧ください。こちらには、各事業の内容や予算額などを掲載しております。

それでは、予算額が大きく増減している主な事業についてご説明いたします。

まず、1ページをご覧ください。1-1、防災のまちづくりについてです。こちらは、昨年12月に発行し、区内全戸へ配布いたしました都島区防災ブックに係る関連経費が不要となるため、予算が減額となっております。

続いて、3ページをご覧ください。4-1、にぎわいと魅力あるまちづくりのうち、2、外国人訪問者向けホスピタリティアクション、3、万博機運醸成につながるシティドレッシングについては、万博関連事業の終了に伴い事業費が減額となっております。

次に、4ページをご覧ください。3、区長舎設備維持費についてでございます。これまで多くのご意見をいただいております区役所1階トイレの改修工事を実施するため、予算が増額となっております。続いて、6、国産木材を活用した区役所庁舎整備事業については、国産木材の利用促進を図る国の施策に沿い、正面玄関ロビーの木質化改修工事を実施してはりましたが、工事完了に伴い減額となっております。また、8、都島区役所住民情報業務委託については、会計年度任用職員の採用に伴う人件費の増加により増額となっております。以上の結果、令和8年度の予算総額は約5億1,000万円となり、令和7年度と比較して約3,800万円の増額となっております。

なお、資料下段に記載しておりますとおり、区CM事業予算は約5億円、また、校長経営戦略支援予算は例年どおり400万円弱となっております。

大変長くなりましたが、説明は以上でございます。どうぞよろしく願いいたします。

【久保議長】

西山課長、ご説明ありがとうございました。

それでは、ここで全体会を一旦中断させていただきまして、グループでの意見交換に入りたいと思います。事務局からご説明をお願いします。また、ご案内をお願いします。

【三井課長】

それでは、グループ討議につきましてご説明させていただきます。

前回と同様に2つのグループに分かれていただきまして、ただいま説明いたしました議題(3)令和8年度予算事業及び運営方針(案)について意見交換をしていただきたいと思います。

また、同じ部屋で一斉に議論を始めますと、どうしても周囲の声が気にかかると思われるので、後ほど区役所職員の誘導に従って、前回同様、人がつながり・いきいきと暮らせるまち、子どもが輝くまちグループの委員につきましては、別の会議室に移動していただきまして、グループでの意見交換終了後に、こちらにお戻りいただきたいと思います。

グループでの意見交換は、都島区役所の職員が司会進行をさせていただきます。

意見交換の時間は、おおむね40分程度、8時30分頃までを予定しているところです。

また、意見交換終了後、10分程度、休憩及び各テーブルにおいて区役所の職員が意見交換の内容等を確認させていただきます。

その後、お席へ戻っていただきまして、8時40分頃に全体会を再開できればと思っております。

全体会におきまして、各グループの代表の方から意見の内容を発表していただきました後、全体での意見交換といたします。

グループでの意見交換の進行方法について、何かご質問等はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、区役所職員がご案内いたしますので、申し訳ございませんが、人がつながり・いきいきと暮らせるまち、子どもが輝くまちグループの皆様は、お手元の資料を持ってご移動ください。よろしく願いいたします。

(グループ討議)

【久保議長】

それでは、皆様お戻りのようでございますので、これからグループでまとめられたご意見をお聞かせいただければと存じます。

では、まず、安全・安心のまち、明日に誇れるまちグループからお願いいたします。

【藪上副議長】

それでは、よろしく願いいたします。

経営課題1の安全・安心のまちのところからでございます。安全・安心のまちのところが経営課題といましてディスカッションをさせていただきまして、大きく主に3つの課題というところに着目をいたしました。

まず1つは、地域によっては、参加者が限られているというところ、参加をしてもらえないというところ、その辺りの課題があるというところがございます。ここにつきましては、いろいろな団体に活動を広めていくことというところが非常に大事になってくるかなと思いますが、そこも区役所と連携してやっていく、やっていこうという、いけるのではないかという話になりました。例えば、民生委員であったりとか、その地域の学校のPTAであったりとか、あとは、そういった防災リーダーもジュニアのヤングの防災リーダーなんかも巻き込んで広めていければなというところがございます。

2つ目は、似ているんですけども、若い人がなかなか防災リーダーに入らないというところですね。なぜ若い人が入らないのかというところについてでございます。ここにつきましては、そもそも、防災リーダーを今やっている人と若い人との思いのずれというのがあるのではないかなというお話になりました。これは一例ではあるんですけども、私の一例になるんですけども、私が所属しています大東のまちづくり協議会で、3月1日に自転車の講習を小学校でやったんですけども、見てみると、なかなか若い人、どちらかというとやはりお年を結構いかれた方。子どもたちも来るのかなと思ったら、意外とそうではなかったというところがやはりありまして、そもそものそういったあり方についても、やはり視点が違うのかなということを私自身も感じることもありまして、こちらについてはご意見をさせていただきました。

そこにつきましては、やはり20代から40代の方が非常にキーパーソンになってくるかなと思いますので、ここをしっかりと区からも推薦する仕組みというのをつくってほしいという意見をさせていただきました。

あとは、3つ目なんですけれども、町会加入をしていないところ、やはり地域によっては非常に町会に入っていない方が多いというところ、ファミリー層だけではなくて、結構単身の世帯が多いような地域というのもありまして、そういったところでは、そもそも防災の案内であったりとか、そういった取組の共有というのがなかなかできていないところが多いのではないかなと感じるところが多いという意見もございました。

こちらにつきましては、区役所で去年、防災ブックを配布したそうなんですけれども、今年度は配布予定がないということで伺っておりますので、これをもって、毎年ではなくても結構コンスタントに配布していったほうがいいのではないかなと。そういったことで、やはり単身世帯とか、そもそも地域のことをあまり知らない方でも、防災についてはしっかりと視点を持ってもらうということが大事なのではないかなという意見がありました。

あとは、委員の中で取組をされている中で、例えば、その委員が住んでいるマンションで、そのマンションの管理組合と連携をして、そういった防災についてのイベントをしたというような方。

あとは、こういった意見も出まして、先ほどの単身世帯とか若い人の話にもつながってくるんですけども、地域でやる防災訓練であったりとか、区が出している、この区政会議での取組でもあります防災の取組というのは、結構共助に向けた取組が多いのかなとは思っているんですけども、やはり結構自助の面も大事なのかなというところで、若い人は自助を結構求めて、やはり情報収集であったりとかそういったところに結構アンテナを巡らす方が多いかなと思いますので、そういったところで両輪で、しっかりと共助は共助として引き続き取り組んでいく一方で、やはり自助を高めていくというところにも重点を置いていくほうがいいのではないかなと思っております。

余談にはなるんですけども、これはもともと私たちのところで議論するものではないんですけども、明日に誇れるまちの部分で、ちょうどファシリテーターに鹿倉課長がいらっしゃいましたので、都島のまちづくりビジョン2040の話になりまして、そこも簡単にご紹介をさせていただきたいなと思っております。

Meets NATUREの紹介が先ほど全体の会議のところでもありましたけれども、やはりどうしてもパンフレットの見た目が結構子ども向けの印象があるので、もう少し大人向けにも参加できるイベントというところもイメージを周知していただけるといいのではないかなという意見が出ました。もっと広まればいいよねという意見も全体として出たんです。

あとは、15分都市についての話にもなりました。これは私も意見させていただいたんですけども、15分都市は非常にいいビジョンだなと思っているんですけども、どうしても地域差が出てくるかなと思っていまして、特に北部、東部にお住まいの方というのは、区外に出られて買物をされる方というのが非常に多いのではないかなと思っておりますので、ここ都島区で完結できる15分というところをもっとアピールしていただくというところもやはり大事なんじゃないかなという意見をさせていただきました。

私が入っているほうのところについては以上になります。うまくしゃべれなくて申し訳ありません。以上です。

【久保議長】

ありがとうございました。

続きまして、人がつながり・いきいきと暮らせるまち、子どもが輝くまちグループの意見の報告をさせていただきます。主に4つございます。

1つ目は指標についてです。こちらについては定量性が主になっているので、定性性の両方を考慮した形での指標が必要ではないかというご意見がありました。

また、このアンケートからでは、孤立感などそういうものが浮き彫りにはなかなかになっていないのではないかという質問がありましたが、このアンケートについては地域の自立をめざしたアンケートであるので、そういう観点でのアンケートについては、また今後考慮していきたいという回答が区からありました。

2つ目は予算についてです。こちらの予算表ですが、ざっくり過ぎて分かりにくいので、もう少しブレイクダウンした形で記載するなり、また口頭で説明していただき提示していただけると、より分かりやすいのではないかという意見がありました。

3つ目ですが、子どもの頃からまちづくりに参加できる、あるいは地域愛を育てるような取組がもっとあったほうがいいのではないかということがありました。学校で行われている教育について回答がありましたけれども、さらなる取組も考慮してほしいということがありました。

4つ目ですが、開かれた学校、また共に歩む学校としまして、学校協議会のさらなる充実を望むというご意見がありました。

この4つが主に出た内容となっております。

それでは、ただいま両方のグループから報告をさせていただきましたが、何かご意見、ご質問がございましたら、挙手をお願いいたします。挙手いただきましたら、事務局がマイクをお持ちいたしますので、まずお名前をいただきましてからお話をお願いいたします。いかがでしょうか。

【雲井委員】

雲井と申します。

資料の2-1です。パブリックコメントの結果と対応を示していただいております。ここに、3名の方が延べ10件ですか。区役所としては、この3名の10件をどう捉えていらっしゃるのか。多いのか少ないのか、こんなもんやなとおっしゃるのか。そして、後ろに傍聴の方も来られています。熱心に傍聴されているんですが、この5名の方で多いのか少ないのか、もっともっと多くていいのかなと思っているんですが、いかがでしょうか。

【西山課長】

政策企画担当の西山でございます。

ご意見をありがとうございます。数が多いか少ないという点につきましては、事業の目的とか対象などによって評価の考え方というのは異なる部分があるとは思いますが、今回はまさに実績数値をお示ししたというところでございますので、現在、区として、この件数が多いか少ないかという評価は特に、多かったからよかった、少なかったからよかったというような評価はしておりません。

傍聴についても、SNS、広報誌やインターネット等で発信をしておりますので、できるだけ多くの方にご覧いただきたいと思っております。こうして役所に直接お見えになって傍聴いただくのも可能ですし、

インターネットを介してライブ放送を拝見していただくという手法もございますので、いろんな手法をもって区政会議に興味を持っていただけたらと考えているところでございます。

【雲井委員】

ありがとうございます。

3名10件が、あるいは傍聴の方が、立派な答えやなど。また、それしか言いようがないと感じるんですが、もっともっと多くの声があり、もっとたくさんの方が、偉そうには言えないんですが、傍聴に来られたらいいんじゃないかな。そのためのご努力を区でもっとしていただけたらと思います。広報活動です。

以上です。

【久保議長】

ありがとうございました。

ほかにもご意見、ご質問があると思うんですけども、時間の関係上、先に進ませていただきたいと思っております。

本日ご出席の議員の皆様からコメントを頂戴いたしたいと思っております。恐れ入りますが、1分程度でよろしく願いいたします。

【大西議員】

皆さん、ありがとうございます。大阪市会から、大西しょういちでございます。よろしく願いします。

いろいろ今日も議論があったと思うんですけども、僕からは、都島区防災ブックがすごくいいなと思って。昨年から聞いていたんですけども、防災は忘れた頃にやってくるということで、やっぱり南海トラフの地震とか、自助・共助の話、先ほどグループの会議でも聞いていたんですけど、やっぱりこれはしっかりやっていかなあかなと思います。

あと、淀川に隣接している地域も都島区はあると思っておりますので、きっちりこれを周知していかなあかな。周知つながりで、昨日、実は淀川で、ずっとやっている大川の掃除というのがあるんですけども、1年に1回なんですけど、その大川の掃除と河川レンジャーとってやっているコラボレートがありまして、多くの方が集ってごみ拾いをしていたんです。やっぱりこうやって地域の方が連携を取って、いろいろお話しをしてごみを拾っていくという形をすることによって、何か輪ができていくんじゃないかなと思って考えていたんです。コラボレートも、これはかなりよいことやと思っておりますので、これからして欲しいなというのがまず1点。

周知で、最近これは事例であったことなんですけども、去年、ご相談がありまして。僕、大阪市会で教育こども委員会に所属しています。プリント、学校で配られへんねんけど、どうにかしてくれへんか

ということやったと思うんです。周知というのも、これは今デジタルで、ずっとDX、DXと言ってやって、ICTの局もあるんですけども、やっぱりデジタルと、まだまだ紙という、これもハイブリッドでやっていかなあかんのちゃうかなと思います。周知のつながりで、そういうこともきちっと、紙とプラス、デジタル、しっかりとしたデジタルをやっていかなあかんなと思いました。

そして、臼井委員が作ってくれていたや文書。僕らもあしたから予算委員会なんです。そういう形で、事前にこうやって質問をやってきてくれているというのは、僕らも、委員会、いろいろ所属でずっとやっているんですけども、やっぱり事前に僕らも質問はつくるんです。それで、行政に答えてもらうというのが常でして。これ、あったほうがいいんちゃうかなと、役所側の行政側も考えているじゃないですか。ということで、すごくいいなと思いました。

そういう形で議論をやっていっていただけたらなと思いますし、周知活動も、さっきのハイブリッドでやっていただけたらなと思っておりますので、よろしくお願いします。ありがとうございました。

【荒木議員】

大阪市会の荒木でございます。

本日は、委員の皆様、長時間にわたり真摯なご議論を本当にありがとうございました。そしてまた、区役所の職員の皆様も長時間にわたりご苦労さまです。

自分から特に助言ということもないんですが、1つは、この区政会議の運営の仕方が、昔から比べるとかなり変わってきたかなと少し感慨深く思っておりました。そして、先ほどテーマといいますか出ておりました15分都市というんですか。カルロス・モレノさんとおっしゃるんですか。自分自身、この15分都市という考え方は全く知らないので、一度この方の本を読ませていただいて、どうのお考えなのかなというのを読んでみたいなと考えておるところでございます。

それと、これは区役所に助言というよりもご提案なんですけど、来年度、いわゆる令和8年度から区役所の建て替えに関する予算案が措置されていると聞いております。具体的には市民局の予算と聞いておるんですけども、この都島区役所、大阪市の24区の中でも2番目か3番目に古い庁舎のはずです。先ほども臼井委員から、区役所、区民センターというようなことが話題として出ておりましたけれども、区役所は、ただ単に区の職員が仕事をする場所ではないと考えております。市民の方が集って、区役所を市民の皆様と一緒に盛り上げていくといいますか、そういう基地というんですか、そこをベースという感じでこれからやはり考えていくべきかなと思っております。

十年二十年たてば、例えばですけども、仕事の仕方は多分変わっておると思います。区役所に区役所職員がいないような仕事の仕方になっているかも分からないので、この区役所、区民センター、そしてほかの施設、いわゆる総合庁舎としてであったりとか、どの場所に区役所としてあるべきであったりとか、そういうことのご議論をできれば区民の方と一緒に区役所も進めていただきたいと思いますと思っております。

ます。まだまだ先の話かなと考えますけれども、やはり区民の方から、声を上げていただいて、一緒になってワークショップか何かをしておくということを、局に、あるいは市長に声を届けるのがやはり新しい庁舎が建て替わるために必要なことかなと思っております。できるだけ、そういう取組を進めていただきたいということ、これは参考といたしますか、自分からお願いということでお聞きいただいたらと思っております。

本当に今日は委員の皆様、長時間ありがとうございました。

以上です。

【久保議長】

議員の皆様、ありがとうございました。

それでは、最後に藤岡区長から一言ご挨拶を頂戴したいと思います。よろしく願いいたします。

【藤岡区長】

長い時間にわたりまして、皆さん、真摯なご議論本当にありがとうございました。また、議員の先生方もご意見をいろいろありがとうございました。本当にいろんなご意見、アイデアを頂戴いたしました。

特に今年、私が取り組んできたのが、予算には書いていないんですけども、子どもが社会参画する、まちづくりを一緒にするというところに積極的にやっぱり取り組んでおります。先ほどご紹介ありましたとっきーの防災本については、小学生も読める、5、6年生、高学年も読めるものということで新しく作ったものです。毎年は配らない保存版なので、皆さんしっかり保存していただいて、新しく都島区に来られた方にはそれをお渡しするというので、ぜひ、自助・共助に役立つ本だと思いますので、皆さん、しっかり家族で、また事業所の皆さんで読んでいただきたいなと思っています。本当に自分の身を助けることからスタートするというので、余力があったら防災、地域の共助に取り組むということがまず基本になると思いますので、そういった中での助けになればというふうに考えています。

あと、中学生の、みやこじま未来会議というのを今年からスタートしまして、子どもたちも、自分たちのまち、どういうふうなまちになってほしいか言うてということで今回議論をして、大変活発な意見を頂戴して、それを事業化できないかとチームでみんなで考えたり、そんなこともしております。

また、冒頭、臼井委員からも大変貴重なシートを作っていただいて、ご意見をいただきました。そのような中で、ハードに関する取組につきましては、非常に多くの関係者がいます。多くの調査も行いながら進めていくと、結論に導いていく必要があると思っております。特に各局がやっていく事業ということもございます。例えば今、荒木議員からお話がありました区庁舎の建て替えについては、今年から検討をスタートしております。建て替えビジョンを時間をかけてつくっていくんですね。その中で、やはり、その際には区民の皆様ともコンセンサスを取りながら進めていく必要があります。そのために、先ほどご紹介した都島まちづくりビジョン2040のプラットフォームがあると理解をしていただい

て、そういった必要性から考えてきたものでございます。

また、昨今、これから人口が少なくなっていく、コミュニティの希薄化というものが非常に話題になっております。そうした中でも、この都島区って本当に魅力があるまち、人も温かいという、その活力とか魅力、はたまた地域共助を支えるコミュニティを維持していくという大変必要なことの中で、そうした区民の皆様によりよいまちのイメージを共有しながら、「みんなで未来をつくるまち」ですから、みんな参加で、プラットフォームをつくりながら、ロードマップをつくりながら、まちをつくっていききたいという思いを込めて、まちづくりビジョンをつくらせていただきました。

今日は本当にそれに向けての、まとめるに当たっての大変貴重なご意見をたくさん賜りましたので、これからしっかり引き続き取り組んでまいりたいと思いますから。ぜひ、ご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は、ありがとうございました。

【久保議長】

藤岡区長、ありがとうございました。

皆さん、本日はとても貴重なご意見を頂戴いたしましてありがとうございました。

都島区の中で、区民また行政、そしていろんな地域団体がございますけれども、皆様の話を聞いていて、それぞれがいろんな取組をなされているわけですが、さらにお互いがそれぞれコミュニケーションを取ったり、あるいはリンク性をさらに深めたり、情報共有をすることによって、ますますまちづくりを充実していくことができるのではないかと考えました。

一昨日、NHKの朝のニュースで「西日本の旅」でこの都島区が取り上げられていて、拝見しておりました。この自然や文化のところをクローズアップして取り上げられていましたけれども、そのニュースと関連しまして、先ほどのグループの中でキーワードが、都島区民としてのアイデンティティを持つという言葉が出てまいりました。このような意識をこの2030そして2040のビジョンに反映させながら取り組んでいくことができたならと考えております。皆様方の引き続きのご支援を賜りたいと思っておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

これで、本日予定しておりました議題は全て終了いたしました。皆様のご協力で議事を円滑に進めることができましたこと、御礼申し上げます。

それでは、事務局にお返しいたします。

【三井課長】

ありがとうございます。

本日は、議長、副議長をはじめ各委員の皆様方におかれましては、長時間ご議論いただき誠にありがとうございました。

なお、後日、改めてご案内させていただきますけれども、令和8年度第1回の区政会議は、令和8年6月16日火曜日を予定しておりますことをお伝えさせていただきます。

これで本日の区政会議を終了させていただきます。どうもありがとうございました。

以 上